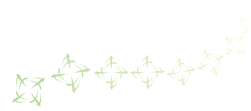


**優れた…は 優れた人間
でなければならぬ**

後援会長 大久保隆志



日頃は後援会活動に、ご理解とご協力を賜りまして、誠にありがとうございます。後援会は保護者全員で、学生達の学びやすい環境づくりを支援しようというものです。十四ある各支部は、それぞれに独自性溢れる活発な事業活動を行っています。これは、本後援会の特徴と言えるものです。高専は高等教育機関に分類され、後期中等教育機関である高校とは異なりますので、保護者の立場からすると、学校の様子がわかりにくい部分もあるかと思えます。それゆえに各支部の後援会活動は、保護者同士の貴重な情報交換の場でもあります。ご都合のつく限り支部行事への積極的なご参加を、宜しくお願ひ申し上げます。

さて、学問には「科学」と「哲学」の二つの領域があります。理性とい

う能力を持つ人間には、もっとよく知りたいという《認識欲》と、幸福になりたいという《幸福欲》の二つの欲求があります。それらに応え得るものとして「科学」と「哲学」が生まれたと言われています。長野高専の『優れた技術者は優れた人間でなければならぬ』という教育理念は、正にこの二つの領域を見据えたものであると言えます。学生達にはバランスのとれた人間として成長してほしいものです。感謝の念を忘れずに「生きる」ことへの確固たる志を立て、専門技術を通して日本の未来の一翼を担う人材となってほしいと願います。人間は一生が勉強の連続です。私は、息子が長野高専にお世話になったお陰で、後援会を通して、この学校の良さを知ることができました。特に理念には共感する所が大きく、自分自身に置換えてみると、「優れた親は優れた…」 「優れた経営者は優れた…」等、自問自答の連続でもあります。正に万人に共通の永遠のテーマと言えるかもしれませぬ。仕事・家庭・地域の事…何かと忙しい中ではありますが、後援会活動の場を通して、我々会員も「人間の格」を少しでも磨き高めることができれば、と思う次第であります。

ご支援よろしくお願ひします

後援会副会長 小山 松男



上伊那小山です。南信からは長野市は遠く、高専も身近な存在ではありませんでした。息子の入学、そして副会長を務めさせて頂くことで、高専が身近になり、非常に貴重な機会を与えられていると感じております。さて、最近の本校学生は世界レベルの活躍をしています。スポーツ、文化、各種コンテストへの参加等の活動は、本業だけでは得ることの出来ない、貴重な経験であり、様々な気付きの場であり、人生の中を広げてくれるものと考えております。学生が様々なことに伸び伸びとチャレンジし、より高いステージに昇っていきけるように、出来る支援を続けていけたらと思えます。「何が学生のためになるのか」を考え、今後も活動をして参ります。皆様のご理解とご協力を、よろしくお願ひ致します。

三年間 頑張ります

後援会副会長 白石 一成



今年度より後援会の副会長を務めることになりました白石一成です。息子は三Mに在籍しています。後援会の皆様また高専の校長先生はじめ、各先生方には、日頃より後援会活動に深いご理解とご協力を頂きありがとうございます。さて私は今までPTA等の仕事も公の場での長を経験した事もなく、今回この様な重責のある大役が務まるか心配でなりません。しかし高専生の為に何が出来るか絶えず考え、皆様方のご協力を頂きながら三年間頑張りますので、お力添えを宜しくお願ひ申しあげます

